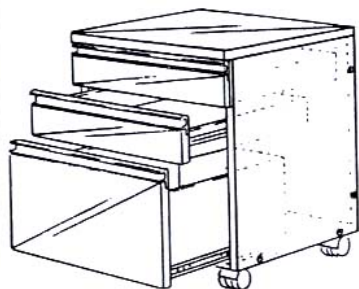


# シルバーハンドルサイドチェスト 組立説明書 型番 F-528

この度は本品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

**完成図**



【日本製】

## たんす類の品質表示

寸法  
外形 約 幅 400mm × 奥行き 420mm × 高さ 572mm  
引出しの奥行き 350mm  
表面材 プリント紙化粧板  
表面加工

取り扱い上の注意

- イ. 据付けの際には、湿気の多いところを避け、家具を水平に保つために必要な措置を講じてください。
- ロ. 直射日光又は、ストーブ等の熱を避けてください。

表示者 社団法人全国家具工業連合会 ☎ 03-5566-9706

製造会社・管理番号 26-001

**耐荷重量についての表示** 天板部分は20kg、引き出し部分は2kgを超えない範囲でご使用下さい。

## ⚠️ 組み立て前に必ずお読み下さい!

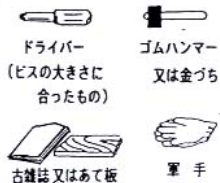
- 塗料・接着剤等の臭いがかもっている場合があります。梱包を開けて作業する場合は通気性を良くして行ってください。
- 組み立ては充分に広い場所で行い、まわりの家具や床等に傷がつかないように注意してください。
- 組み立ての際は指を挟んだり、足にものを落とさないように充分注意してください。
- 組み立てる前にまず部材・部品を確認してください。
- 万一、傷・不足があればご面倒ですが下記のお問い合わせ窓口までご一報ください。
- ボンドをつける前に仮組み(確認)をすると、間違いが防げます。
- 部材をボンドで接着した後では外す事ができませんのでご注意ください。
- ビスのプラス穴に合ったドライバーを使用し、最初は仮締め程度にして組み上がってから締めてください。
- ビスを必要以上に締め過ぎると、空回りして効かない場合があります。
- ボンドが完全に乾いてから(夏季6時間・冬季12時間程度が目安です)ご使用ください。

(注意)※商品を保証するために薄い板が2枚入っていますが、組み立てに必要な部材ではありません。

※裏面の取扱説明書も必ずお読み下さい。また、この説明書はいつでも見られるように大切に保管して下さい。

上記の注意事項に充分注意して、正しく組み立てて下さいませようお願いします。

### 組み立て時に用意する道具

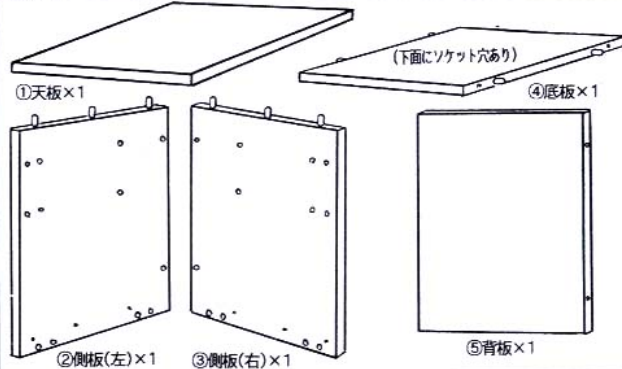


# 部材・部品明細

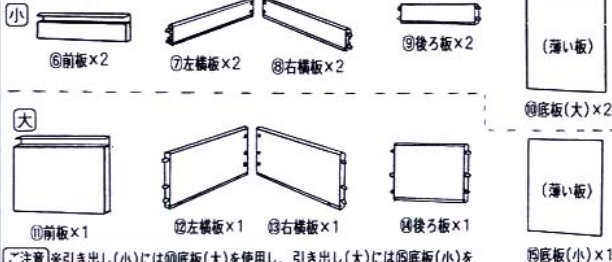
(部品明細) ※下図に描かれた部材・部品が揃っているか、確認して下さい。

※梱包を開けると、箱の両端に薄い板が1枚づつ入っています。これは商品を保証するためのものであり、組み立てに必要な部材ではありませんので、処分していただくようお願い致します。

本体部材



引き出し部材



付属部品

A	ビス×8	B	ボンド×2	C	すりばねレール×4	D	ストッパービス×4
E	側用レール(左)×1	F	側用レール(右)×1	G	引出し用レール(左)×1	H	引出し用レール(右)×1
J	レール用ビス×10	K	キャスター×4	L	ソケット×4	M	ビスシール×8

# 組み立ての手順

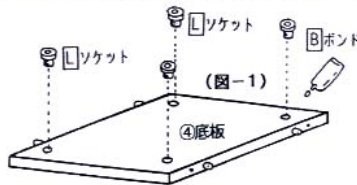
番号の順番に従って、組み立ててください。

F-528

※ハンマーで叩く場合は、あて板・あて布・古雑誌等をあてて下さい。

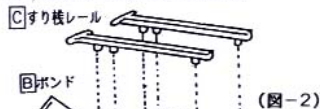
## 1 本体を組み立てる。

- (1) ④底板の穴に[B]ボンドを入れ、  
Lソケット(4個)を打ち込みます。  
(図-1参照)



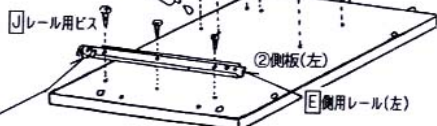
- (2) ②側板(左)のすりばねレール用の穴(貫通していない穴)に[B]ボンドを入れ、Cすりばねレール2本を差し込みます。あまり強くたたくと破損する恐れがありますので注意して下さい。

※図-2は②側板(左)への取り付け図です。



- (3) E側用レール(左)を押しに合わせて取り付けます。(ここまで図-2参照)

- (4) 同じ要領で③側板(右)にもCすりばねレールと、F側用レール(右)を取り付けて下さい。

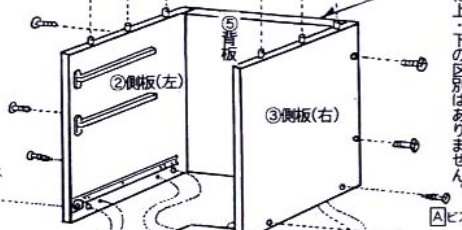


※ローラー部分が下向きになります。

- (5) 左右側板②・③のダボ穴(貫通していない穴)に[B]ボンドを入れ、④底板を差し込み、Aビスで固定します。



- (6) ⑤背板を化粧面が外を向くようにしてAビスで取り付けます。



- (7) ①天板のダボ穴に[B]ボンドを入れ、上から傷のつかない様にあて物をあてて打ち込みます。

- (8) ④のソケットにKキャスターを差し込みます。(ここまで図-3参照) カチッと音がすれば取り付け完了です。Bボンド

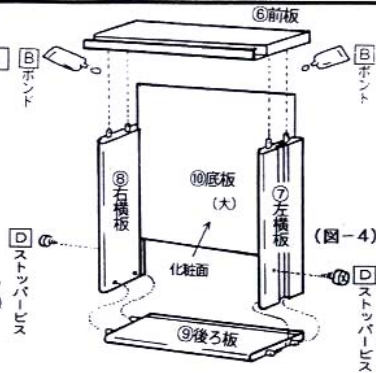


(図-3)

## 2 引き出しを組み立てる。

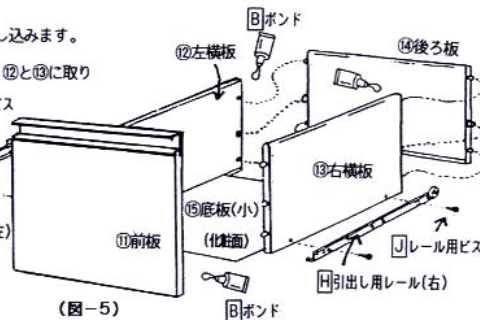
※同じ要領で引き出し(小)を2個組み立てて下さい。

- ⑦左横板と⑧右横板のダボ穴に[B]ボンドを入れ、⑨後ろ板を溝を合わせて差し込みます。
- ⑦と⑧の溝に沿って⑩底板(大)を差し込みます。
- ⑥前板のダボ穴に[B]ボンドを入れ、傷のつかない様にあて物をあてて打ち込みます。この時、⑩が各溝に入っているか確認して下さい。
- 最後に⑦と⑧にDストッパービスを取り付けます。(ここまで図-4参照)



※引き出し(大)を1個組み立てて下さい。

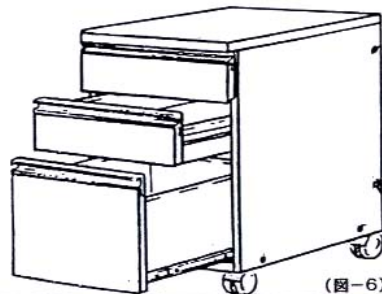
- ⑫左横板と⑬右横板に[B]ボンドを入れ、⑭後ろ板を差し込みます。
- ⑮底板(小)を⑫・⑬の溝に沿って差し込みます。
- ⑪前板のダボ穴に[B]ボンドを入れ、⑫と⑬に取り付けます。
- 引き出し用レールG・Hを左右に注意して、⑫・⑬の穴に合わせてJレール用ビスで取り付けます。ローラー部分が後ろになります。(ここまで図-5参照)



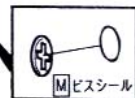
(図-5)

## 3 引き出しを差し込む。

- 組み上がった引き出しを本体に差し込みます。まず引き出し(小)は溝をすりばねレールに入れて差し込み、引き出し(大)はもち上げるようにして、ローラー部分をレールに差し込みます。
- 最後に見えるビスの頭-Mビスシールを貼れば完成です。(ここまで図-6参照)



(図-6)



一度に全部の部品を挿入しないでください。必ず順番に従って組み立ててください。